



ダイコン組の収穫が進んでいます。早めに取り組んだ学生は虫害があり、生育の遅延も認められました。しかし、高めに経過した気温の影響もあるようでダイコン、キャベツ、ブロッコリーは順調に生育し、収穫されています。いつもそうですが、収穫物を手にすると驚きや喜びの声が上がります。



平年に比べて早い梅雨明けとその後8月中旬まで乾燥傾向が続きました。それとともにこの期間は非常に気温が高く推移しました。その影響でサツマイモは小ぶりの傾向でした。また、根の伸長は非常に旺盛で、1m以上伸びた先で芋が形成されていました。



11月6日は夏日となりました(AMeDAS 鳩山)が、14日には $-0.6^{\circ}\text{C}$ を記録しました。秋を通り越して冬といったところでしょうか。この冷え込みで降霜があり、掘り残されたサツマイモやサトイモの葉はすっかりダメージを受けました。

そんな中、クレマチス?の花が咲いています。しかし、この花、花弁が5枚です。かざぐるま(日本原産)は8枚、てっせん(中国原産)は6枚でいずれとも異なります。クレマチスはこれら両種からヨーロッパで作り出された園芸種だそうです。さて、この花はどちらでしょうか。

